

素材を活かす

プラスチック素材や、塗料で着色した広告物は、材質の違いや派手な色彩によって、周囲の景観や建物との調和が困難な場合があります。一方で、木材や石などの自然素材、金属素材などがもっている材質を活かした表現は、品の良い印象を与えることができます。時間経過による変化も、歴史のある営みを想像させます。



外壁と広告物に自然素材を用いた、個性的な店舗の演出



周囲の自然景観と調和している木材を用いたデザイン



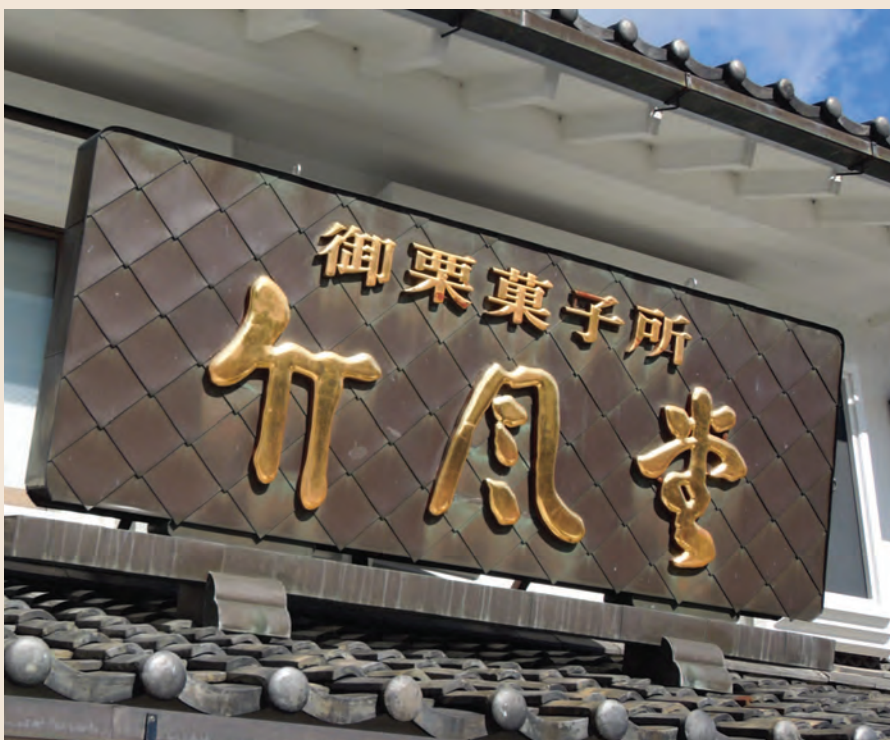
コンクリート打ちの外壁と、モノトーンの金属素材の文字のモダンな組み合わせ



硝子の素材を活かした、小さくとも歩行者の目を引く広告物



シンプルな木製の看板に、草花・低木の組み合わせ



銅に金文字を組み合わせた、落ち着きがありながらも華やかな広告物



木の素材を活かしたピクトグラムで印象的な店の玄関口を演出



鉄板素材と錆をそのまま使っている、素材の雰囲気を活かした広告物



道路や店先の雰囲気と調和した木の広告物

緑を活かす

緑は、人々にうるおいとやすらぎを与えます。緑で演出した広告物は、人々に優しい印象をもたせることができます。四季折々の草木の変化や、風に揺れる動きなど、緑の表情を活かしたデザインや、歩道の街路樹や周辺の木々と調和したデザインも魅力的です。



プランターに植えた緑が外壁を彩るファサード



低木や高木に包まれている、白と茶の文字のシンプルなデザイン ⑥



沿道の草を活かした印象的な広告物 ⑦



原色を使わない代わりに鮮やかな草花をアクセントにした広告物 ⑧



草木と広告物がバランスよく配置され柔らかな雰囲気演出 ⑨



敷地内で、高さを抑えながらも、周囲を緑で囲んだ目を引く広告物 ⑨⑩



茶と白のシンプルな外壁と木々の組み合わせが与える温かみのある雰囲気 ⑨⑩



落ち着いた色のある色の広告物が、敷地内の植木と調和



シンプルな玄関口を華やかにする緑の配置



優しい印象をつくる黒板、手書きの文字と、まわりの緑



プランターの緑によって立看板の周囲が賑やかになった玄関口

風情ある和の様式で演出する

斬新な広告表現を用いても、日本の街並みに合わないものもあります。伝統的な和の表現を大切にしながら、現代の街並みに合った、新しい和の表現方法を考えることも必要です。日本の歴史を意識した風情ある和の様式で演出した広告物は、国内だけでなく海外からの観光客の高い評価を得られることでしょう。



街路樹や街並みと調和している、渋みのある色の素材で統一された外観 ⑩



瓦屋根の街並みと調和した素朴ながらも目を引く看板と暖簾 ⑬



アルファベット表記も、木材を用いることで和を感じさせるデザイン



和の建物に合わせてデザインした看板の文字 ⑭



玄関口に置くことで涼しげな印象を与えるのれん



派手な色を用いず、素朴な色で構成した外壁と広告幕 ⑮

屋外広告物の考え方

山梨県屋外広告物条例について

地域別のガイドライン

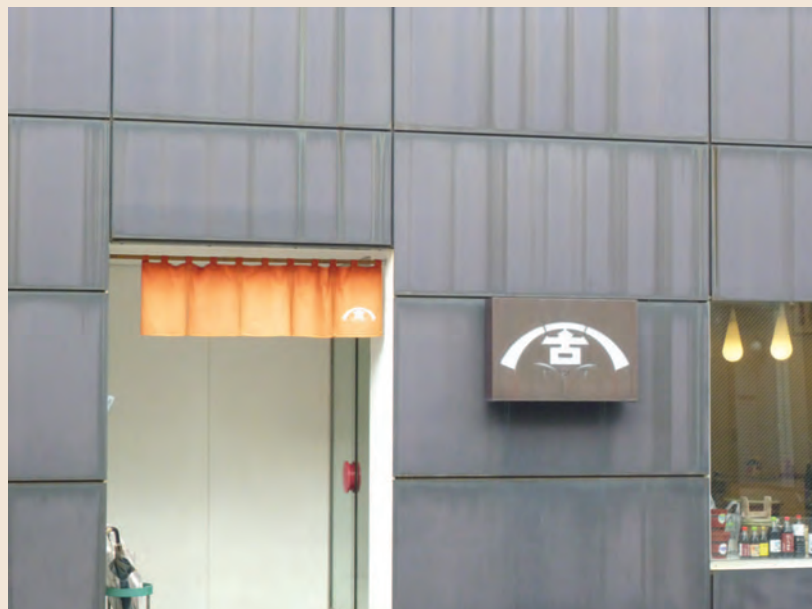
種類ごとのガイドライン

企画・デザインの基本

適正な管理



外壁の雰囲気を変えず、華やかな印象を玄関先に与えるのれん ⑩



モダンなつくりの外壁に和の壁面広告物と、アクセントとなるオレンジののれん ⑪



伝統的な書体でなくとも、素材や色彩によって和の印象と合致



伝統工芸の雰囲気をそのまま表現した印象的なデザイン



伝統色ののれんや木刻を用いて、和の雰囲気の店構えを演出 ⑫

光で広告物を演出する

照明やライトアップは、光そのものの魅力に加え、周囲の暗い背景も相まって効果的な演出となります。ただし、照明が少ない地域では夜間の静けさを乱す恐れがあります。過剰な演出にならない様気をつけましょう。光る部分を制限したり、照らし方や照明の色を工夫することで、派手にならず、落ち着いた印象を与えることができます。



床から上方向に外壁を照らすことで、印象が変わるシンプルな外壁 ⑲



静けさを保ったまま、文字のみが光る演出 ⑳



文字を直接発光させずに壁面を照らす間接照明 ㉑



外壁に照明は用いず、室内の光だけでも存在感を示す建物のづくり ㉒



下方向に店先の床を照らし、落ち着いた印象のある明るい店先を演出



オレンジがかった光を用いることで温かみのある外壁を演出 ⑳



文字のみが光る最小限の明るさが、沿道景観と調和



照明を上手く活用し、夜間も落ち着きのある印象を与える木の看板 ㉑



文字のみが光る構造のため、不要な部分に光が当たらない照明

適正な管理

「山梨県屋外広告物条例」では、平成31年4月1日より、すべての広告物（簡易的なものを除く）に、安全点検が義務化されました。

安全の確保

屋外広告物は、安全の確保が特に重要です。設置の段階で十分な強度計算や対候措置を行っていても、年を経ることによる老朽化により、事故を引き起こすことがあります。仮に事故が起こった場合、広告主や管理者などが責任を問われる可能性があります。

管理上の留意点として、腐食や部材のたわみは、特に注意が必要です。金属材料は空気中の酸素や炭酸ガス、水分によって腐食が進みます。外見上、問題がなかったとしても、内部の腐食が進行しているケースもあります。内部の水を除去するための排水穴なども、埃などで詰まることもあるため、定期的な検査が必要です。



美観の維持

良い広告物を設置した後は、その状態を維持管理し続けることが美観上重要です。著しく退色したり破損しているものは、広告主や管理者などが、法的な措置を受ける可能性があります。また、土地所有者のモラルも問われます。

広告物を美しく維持することは、お客様をはじめとして、様々な方の信頼獲得につながるはずです。



点検義務

広告物を設置する者または広告物の管理者は、その広告物の損傷、変形、腐食等の異常の有無の確認、その他の安全性の点検を行わなければなりません。

また、広告物等の上端までの高さが地上から4mを超えるものは次のいずれかの資格を有する点検者でなければなりません。

- (1) 屋外広告士
- (2) 建築士
- (3) 山梨県又は他の地方公共団体が行う屋外広告物講習会修了者
- (4) 職業訓練修了者、職業訓練指導員免許保持者（いずれも広告美術科に係るものに限る）、技能検定合格者（広告美術仕上げに係るものに限る） など

次の広告物は点検義務の対象外です。

貼紙、貼札、広告旗、立看板、車両・船舶に表示するもの、その他これらに類するもの

※点検方法等詳細については、山梨県HPより「山梨県屋外広告物安全点検指針」をご覧ください。

相談窓口

許可基準、許可申請手続きなど屋外広告物についての相談窓口は市町村ごとに異なります。

市町村名	お問い合わせ先	TEL
昭和町	中北建設事務所	055-224-1677
山梨市・甲州市	峡東建設事務所	0553-20-2806
市川三郷町・富士川町・身延町・南部町	峡南建設事務所	055-240-4120
都留市・大月市・上野原市・丹波山村	富士・東部建設事務所	0554-22-7836
富士吉田市・西桂町・山中湖村・鳴沢村	富士・東部建設事務所吉田支所	0555-24-9049
甲府市（※）	甲府市役所	055-237-5829
南アルプス市	南アルプス市役所	055-282-6397
北杜市	北杜市役所	0551-42-1361
甲斐市	甲斐市役所	055-278-1669
中央市	中央市役所	055-274-8552
韮崎市	韮崎市役所	0551-22-1111
笛吹市	笛吹市役所	055-261-3334
早川町	早川町役場	0556-45-2513
道志村	道志村役場	0554-52-2114
忍野村	忍野村役場	0555-84-7793
富士河口湖町	富士河口湖町役場	0555-72-1976
小菅村	小菅村役場	0428-87-0111

※甲府市は平成31年4月1日から中核市に移行し、甲府市屋外広告物条例に基づく規制が適用されます。

写真

- ・福井県提供：⑬ ⑭ ⑰ ⑱ ⑳
- ・富山県提供：⑩ ⑪ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚
- ・金沢市提供：㉑ ㉒ ㉓
- ・京都市提供：① ② ③ ④ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ㉑ ㉒ ㉓
- ・富士宮市提供：㉑
- ・美しい県土づくり大賞 受賞作品：⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮



表紙写真

第2回美しい県土づくり大賞 おしゃれな広告物賞 受賞作品

- ① ほうとう不動 東恋路店（株式会社早野組）
- ② パティスリー ラヴィ（スタジオオベルナ）
- ③ 勝沼醸造株式会社（綿貫宏介）
- ④ ホトリニテ（サインスタジオオカ）

山梨県では、自然景観や集落景観をはじめとする美しい県土を、さらに磨き上げ次の世代に継承していく活動等を表彰する「美しい県土づくり大賞」を創設しました。その中で、周辺景観への配慮や地域の歴史的・文化的背景を活かす優れたデザイン等により、地域の魅力を向上させるなど美しい県土づくりに寄与した屋外広告物（ポスターその他の簡易なものを除く。）に携わった広告主・設計者等（個人又は団体）を、おしゃれな広告物賞（H29年度以降は「広告景観賞」）として表彰しています。表彰された広告物は、山梨県公式サイト内で見ることができます。（美しい県土づくり大賞について：<http://www.pref.yamanashi.jp/kendosui/utukushikendodukuritaisyuu.html>）

発行

山梨県 県土整備部 県土整備総務課 景観づくり推進室
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
TEL 055-223-1325 FAX 055-223-1857

編集協力 株式会社プレック研究所
有限会社クリマ

